

生きものモニター通信 vol.4

世田谷区みどり33推進担当部みどり政策課

2019年2月発行

昨年に引き続き実施した生きものモニターの報告(9月20日分、11月20日分)が、まとまりましたのでご紹介します。延べ43件の報告がありました。ご協力いただいたモニターのみなさま本当にありがとうございます。

様々な生きものの報告がありました!

水鉢を訪れた生きものだけでなく、観察を通して見つけた生きものの報告もたくさんいただきました。

コアジサシさん、ryukopineさん、水と緑のママさん、ピオトープ18さん、春菜ママさん、世田谷育ちさん、苔子さん、イマツさん貴重な写真ありがとうございます。泉講師より生きものの名前を教えて頂いております。

ク ロアゲハの幼虫と背中にとまって卵を産みつけようとしているアオムシコバチ。なかなか貴重な写真だと思います。もし、この幼虫が卵を産みつけられたとしたら、中で孵化したアオムシコバチの子どもたちに食べられてしまったでしょう。昆虫の世界は凄い生存競争が繰り広げられているんですね。



イマツさん

10月15日アゲハチョウの幼虫が柑橘類の苗木に突然現れました。成虫になると見守っていましたが、8日後の朝確認が出来なくなりました。何処へいったのでしょうか。



①カナヘビ ②シヨウリョウバツ ③ナミアゲハ ④ムギワラトンボ (シオカラトンボの雌) ⑤イトトンボのヤゴ? ⑥アオカナブン ⑦アズマヒキガエル ⑧タニシとモノアラガイ (またはサカマキガイ) ⑨オオヨコバイの幼虫 ⑩コカマキリ ⑪ヤマトシジミ? ⑫ヤモリ ⑬キジバト ⑭羽化直後のホシホウジャク?

ヒメスイレンが咲きました!

昨年度は残念ながらヒメスイレンの開花報告がありませんでしたが、今年度は開花報告(写真)が2件ありました。メダカの育つ環境を守りつつ、ヒメスイレンが咲く環境をつくるのは大変だったと思います。



エリーさん

9月報告 伊勢鯖砂を入手できませんでしたので、下の方に赤玉土をいれてかさ上げしました。南向きのベランダに設置し、サカマキガイ、ミジンコを見つけました。つぼみのついていないスイレン苗でしたが、8月26日に花が咲きました。



老松さん

9月報告 7月下旬にヒメスイレンの白い花が咲きました。予想していたより小振りでしたが、暫く楽しむことが出来ました。アゲハなどの蝶は飛んできていましたが、トンボの姿は見かけませんでした。(写真:上)

11月報告 ヒメスイレンの葉は1枚を残すのみとなってしまいました。これから冬を迎え、水面が凍ることもあるのでしょうか、来春、新しい葉が伸び、夏に花が咲くことを楽しみにしています。(写真:下)



生きものモニター報告 vol.4

みなさまからいただいたモニター報告（9月20日報告分と11月20日報告分）を抜粋して紹介いたします。
生きものモニターを通して、水鉢の周辺の環境にも目が向き、さまざまな生きものを見つけたようです。

モーツアルトさん

9月報告 まわりの植物には、とんぼ、蝶、蜂など沢山来ています。メダカが死んでしまったので、このような小さな容器に飼うことは自然に反することなのかと、考えるようになりました。（写真：左）

11月報告 屋外で育てられているメダカを来春もう予定です。水が少なくと水温変化が大きく、メダカに大きな負担を与えているのかもしれません。タニシは生きています。植物も元気です。（写真：右）



カメさん



9月報告 大雨の度に、水の調整に奮闘しています。ヒメスイレンはバツカの好物のように食べられてしまいましたが、新たに新芽が出てきました。赤ちゃんだったバツカは、大きく成長しています。（写真：左）

11月報告 最近はずっと倒れたようでノラ猫が水鉢を覗いて、前足でかき回しています。メダカやタニシが無事に冬は越せると思いますが。（写真：右）

ピピメダカっちさん

9月報告 8月半ばの暑い日にメダカ鉢を覗くと、メダカが1匹もいないので、よくよく見ると、尻尾が二股に分かれている黒っぽい虫のようなものがいました。ヤゴでした。



世田谷育ちさん

9月報告 南側に置いてあるのに木陰のせいか新たに投入したメダカは煮える事無く育ちましたが、睡蓮の花は見られませんでした。（写真：左）

11月報告 11月になり、とあるTV番組の様に水を抜いてみました。2匹入れたメダカは1匹となり、子供が3匹の計4匹。巻貝が数個と生き物はそれだけでした。庭の葉が落ちてきて、シジュウカラやムクドリ姿が見られる様になりました。（写真：右）



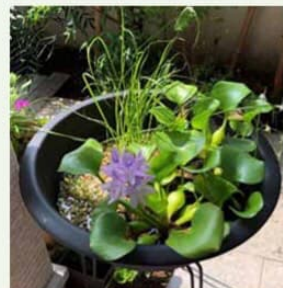
ピオトープ18さん

9月報告 メダカを育てている知り合いから、カワニナかと思ってもらった貝が外来種のスネールだったようで、5・6匹入れたら爆発的に繁殖してしまいました。（写真：左）

11月報告 10月末からメダカの動きがなくなり、鉢底のほうで半冬眠しているのか、泳ぎ回ったり、上にあがってくるのがない。水増しの時、一匹見かけたのですが、死んでないかちょっと心配です。（写真：右）



等々力子さん



9月報告 ダイニングから見える南側のテラスに置いています。この夏、綺麗な薄紫色のホテイアオイが6回も咲きました。我が家の水鉢には、未だ生き物は訪ねて来ていませんが癒されています。

Y・Kさん

9月報告 6月の講習会后、早速伊佐袴を洗い、庭にあった石を入れ、ヒメダカ、スイレン、ホテイ草を入れて、観察をはじめました。翌日にはヒメダカが3匹になり、翌々日には一匹になってしまいました。水鉢は玄関のテラスに置き、直射日光があたらないようにしました。9月まで観察しましたが、なんの変化もありませんでした。残った一匹は元気なので、泉講師のコメントどおり追加しようと思っています。



イマツさん

9月報告 オンプバツカ、カマキリ、オレンジの斑点のある蝶を見ました。毎朝メダカが元気であるか気になり鉢の中をのぞくようになった。（写真：左）

11月報告 街中を歩いても、玄関脇に鉢があるとついぞいでしまう。関心が増えたのかな。来春にはまたメダカを入れて続けて観察します。（写真：右）



みづぎちゃんさん

9月報告 暑い日、水がお湯になったので、水をいれたり日陰をつくりました。浮草を買い足し入れました。夏にどんどん増えました。赤ちゃんメダカを見つけ、娘と大喜びでした。とてもかわいいです。

シナモンさん

9月報告 毎日水鉢を眺めて癒されています。庭に来る鳥などに気を使うようになり、実のなる木を植えてみました。街を歩いても、虫や鳥など気付けてみるようになりました。もっとこのようなモニターが増えて環境に興味を持つ人が増えるといいなと感じました。（写真：上）

11月報告 ウシガエル、日本ミツバチ、ツマグロヒョウモンを見つけた。スイレンの花が枯れてきた。太陽が低くなってきたので、鉢に陽があたるように動かした。（写真：下）



Meisayuさん

11月報告 毎朝元気な顔と覗き見る楽しさが増えたこと。今は、メダカも動きは屋間だけになりました。散歩をしていても、小さな生きもの、草花にも目が向き、楽しさが増えた。



コメントさん

9月報告 頂いた大鉢で生きものを大切に育てております。写真では見にくいですが、メダカの稚魚を4匹放しています。今後の成長が楽しみです。

ツキマサさん

9月報告 時々シジミチヨウが飛来してきていました。水が減っていないか、メダカが減っていないか、水草が腐っていないかなど、じっと観察してしまいます。いとおしいものになっています。



春菜ママさん

9月報告 家の北側に当たる1畳程度の緑地帯に置きました。今後小さな生態系が保たれ、何か生き物が来たら良いなと期待しつつ親子で眺めています。心温まる時間が少し増えて嬉しく思います。



せたがや子さん

9月報告 メダカがなかなか育ちません。水も雨のせいで濁り、連も弱っているようです。落ち着いたら水草も増やしたいのですが、なかなか…。ああ、美しいピオトープの道は遠い。



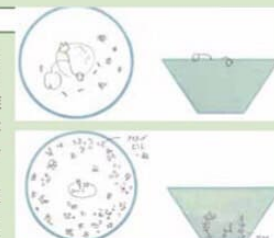
苔子さん

9月報告 ピオトープでトンボが産卵してくれた瞬間を写真にとれました。トンボと背景が同じ色でわかりにくいのですが、まさか私達の庭でトンボが産卵してくれるなんて、夢のようです。

エリざべすさん

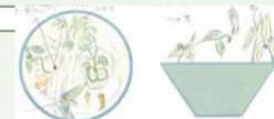
9月報告 メダカベビーに餌をやってしまいます。それが楽しい。スイレンは難しい。段々と葉が黄色くなり、夏には小さくなってしまいました。（イラスト：上）

11月報告 鉢にツル系の植物がついてのびている。一生涯命には思わず笑みが、なんでも頑張っているんだと思った。帰宅した時にスズメが飛び立ったので、あ、水を飲みに来たのかなと、自然に目がいくのは楽しいものでした。（イラスト：下）



薩摩御女さん

9月報告 ベランダの西側の陽射しが強烈の中で、私の日傘（新品）がメダカを守ってくれました。毎日が楽しい。責任感（重大と思い、緊張感がまだ続きますが楽しいです。）感じました。



小澤さん



きいみさん

9月報告 8月中旬までにメダカが一匹になり、下旬には死んでしまいました。孫が飼っているメダカを来月もうるので、また新たに挑戦するつもりです。

水鉢の管理方法にお悩みの方は瀬田農業公園（フラワーランド）園芸相談をご利用ください。

水～日曜日（年末年始を除く）午前10:00～午後4:00 世田谷区瀬田5-30-1

TEL 03-3707-7881（電話相談も可能です）

※都合により園芸相談員が不在場合があります。来訪の場合は、電話にて事前にご確認ください。

泉講師からのコメント



皆さん、水質も水草の生長も安定しているようで、一安心。とは言え今年の夏は異例の酷暑で、メダカたちには受難だったのではないのでしょうか。

ヒメスイレンは日なたが好きですが、あまりに日が当たりすぎると水温が上がりすぎてメダカには辛い環境になりがちです。様子を見ながら日照時間を調節できると良いですね。

葉っぱを食い荒らされて開花に至らなかった場合は、周りに寄せ植えの鉢を置くと被害が緩和されます。

なかなか生きものが遊びに来てくれない場合は、置く場所を変えてみるのも手だと思います。

身近な生きものとは言え、やっぱり人間に対する警戒心は働くので、ちょっと目をはなしたり留守にしているときに限って遊びに来ていたりします。フンのあとや鳥の羽毛、葉っぱのかじりあとなど、お客様の置き土産を探してみるのも楽しいものです。これから初めての冬を迎えますが、水の中に沈んだ枯葉など

はそのまま来春を迎えてみてください。

素焼きの植木鉢の半分ぐらいに欠けたのを折り重ねて沈めておくと、メダカたちの冬眠中の隠れ家になると思います。

冬場は魚や虫たちはなりを潜めています。皆さんの作った睡蓮鉢ビオトープは、秋の終わってから日本にやってくる冬鳥たちの水飲み場や水浴び場としても重要なスポットになると思いますので、そっと見守ってあげてください。

泉 健司 ●植物生態コンサルタント

東京農業大学農学科副手を勤めた後、環境アセスメントをはじめとした各種植生調査などの仕事に従事。1996年ビオトープ・ガーデンを提唱。著書『小さなビオトープガーデン』、『親子で学ぶ身近な自然かんさつ』、共著『地球とつながる暮らしのデザイン』など。



ホームページ <http://www.biotopegarden.jp/>

平成29年度 生きもの モニター報告



2年にわたる水鉢の管理・観察の中で、多くの生きものを見つけ、様々な水草を育て、メダカの世代交代を実感している報告などをいただきました。今後も生きものと共に暮らす生活を楽しんでいただけたら幸いです。



水と緑のママさん



ryukopineさん



udonkoさん



コアジサシさん



ほけきよさん



みっちゃんさん



メダカ100さん

貝トピックス

水鉢の中にいつの間にか、増殖してしまっている小さな巻貝。一般的にスネールと呼ばれ、



よく見られるものはモノアラガイやサカマキガイがあります。これらの貝は雌雄同体で、1匹でも自家受精によって繁殖が可能です。寿命は数か月から1年程度です。大量発生と見た目、嫌われがちですが、水鉢に付いたコケを食べてくれ、そしてフンをたくさんして、それが植物の肥料となるのでいい点もあります。これに似た貝のタニシは、雌雄異体で繁殖には2匹以上が必要です。卵ではなく稚貝を産みます。そして、そんなに増殖しませんし、右巻きの貝殻で、大きさは格段に大きくなります。オオタニシは大昔から食用にされてきました。

世田谷区みどり政策課から

私たちの暮らしは、生物多様性の恵みによって支えられています。ところが、現代の私たち人間の活動により、種の絶滅がこれまでにないスピードで進んでいます。生きものとともにある暮らしと、みどり豊かな環境を次代に引き継ぐために、身近なところから、生物多様性を意識したライフスタイルを実践していただければ幸いです。

今年もたくさんのモニター報告をいただき、ありがとうございました。水鉢だけでなく、泉先生から教わった「チョウを呼ぶガーデニング」や「野鳥の好む実のなる木」などにも挑戦してみてください。そして、自分だけのこだわりの「ちょこっと空間」をお楽しみください。